

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2022.8.1
No.190



令和4年市議会第2回定例会
一般会計補正予算案などを可決
補正後総額224億143万円

第67回美濃加茂市消防操法大会で優勝した第3分団(山之上地区)

主な内容

- ◆定例会の審議結果…………… 2～3P
- ◆議案クローズアップ…………… 2P
- ◆委員会審査の概要…………… 4～5P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
…………… 6～13P
- ◆議会日誌・議会を傍聴しました
…………… 13P
- ◆お知らせ・編集後記
…………… 14P

令和4年
第2回

定例会

令和4年6月6日に美濃加茂市議会第2回定例会が開会され、会期を6月24日までの19日間と決定しました。その後、令和4年第1回定例会からの継続審査となっていた、陳第1号について、委員長報告のあと、質疑、採決まで行いました。その後、2億8,868万7千円増額の令和4年度一般会計補正予算(第3号)を含む18案件(請願及び陳情・要望3件含む)を上程し、提案説明を行いました。そのうち、美濃加茂市監査委員の選任についてを含む計3議案については、質疑、採決まで行いました。また、請願及び陳情・要望については委員会付託し、散会しました。

第19日目(最終日)は、初日に採決した3議案を除く15議案(請願及び陳情・要望3件含む)について、各常任委員会の委員長報告の後、採決を行いました。また、最終日に追加上程した、議第45号については、提案説明の後、質疑、採決を行い、定例会を閉会しました。

議案 クローズアップ

議第45号

中濃二次医療圏の新たな救命救急センター指定を求める意見書について

中濃二次医療圏では、救命救急センターの中濃厚生病院と12の救急告示医療機関(可茂地域7医療機関、武儀地域2医療機関、郡上地域3医療機関)が、救急搬送業務を担っている。しかし、中濃二次医療圏は、県内二次医療圏で人口が二番目に多く、面積についても二番目に広い医療圏ながら、人口10万人当たりの医師数は岐阜県平均の値を大きく下回り、県内二次医療圏で最も医師数が少なく、特に小児科医師不足は顕著な状況である。また、県内消防本部単位における救急搬送不可率は、可茂地域の可茂消防事務組合消防本部が、ワースト1~2位という状況になっており、可茂地域の救急告示医療機関では、救急告示指定を取り下げる医療機関も散見され、また、近隣の救命救急センターもこれ以上の救急搬送の大きな受け入れは困難な状況となっている。

このような現状であるが、当地域では救急告示医療機関の一つである社会医療法人厚生会中部国際医療センターが、救急搬送業務、ウォークイン及びドクターヘリ患者の多くを受け入れていただき、救命救急センターと同等の役割を担っている。中濃二次医療圏の救急医療状況を総合的に鑑み、新たな三次救急医療機関(救命救急センター)の指定は、この地域の安定的な救急医療体制構築には喫緊の課題であり、また、県内二次医療圏で周産期母子医療センター及び小児救急医療拠点病院が、唯一中濃二次医療圏には指定医療機関がなく、関連の救急搬送は岐阜医療圏への搬送となっている。

以上のことから、下記のとおり、美濃加茂市議会として社会医療法人厚生会中部国際医療センターを三次救急医療機関(救命救急センター)に指定いただくことを切に要望する。

記

- 1 社会医療法人厚生会中部国際医療センターを三次救急医療機関(救命救急センター)に指定すること
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年6月24日
岐阜県美濃加茂市議会

提出先 岐阜県知事

定例会の審議結果

議案の審議結果

全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	主な内容
承第1号	専決処分の承認を求めることについて 令和3年度美濃加茂市一般会計補正予算(第18号)	1億6,104万9千円の増額、予算総額は273億7,205万5千円
承第2号	専決処分の承認を求めることについて 令和3年度美濃加茂市一般会計補正予算(第19号)	1,432万9千円の増額、予算総額は273億8,638万4千円
承第3号	専決処分の承認を求めることについて 令和4年度美濃加茂市一般会計補正予算(第1号)	2億3,616万4千円の増額、予算総額は220億3,616万4千円
承第4号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市税条例等の一部を改正する条例について	地方税法等の改正に伴い、所要の改正を行うもの
承第5号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市都市計画税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の改正に伴い、所要の改正を行うもの
承第6号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市介護保険条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症により収入が減少した被保険者等に係る保険料の減免について引き続き実施するもの
承第7号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	新型コロナウイルス感染症により収入が減少した被保険者等に係る保険料の減免について引き続き実施するもの
議第37号	美濃加茂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	諸記録等の手続きについて、書面等に代えて電磁的記録により行うことができるよう改正するもの
議第38号	美濃加茂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	諸記録等の手続きについて、書面等に代えて電磁的記録により行うことができるよう改正するもの
議第39号	美濃加茂市議会議員及び美濃加茂市長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例について	自動車の使用及びポスターの作成に係る公営費の限度額を引き上げるもの
議第40号	令和4年度美濃加茂市一般会計補正予算(第3号)	2億8,868万7千円の増額、予算総額は224億143万円
議第41号	美濃加茂市監査委員の選任について	任期満了に伴う後任委員の選任同意(田中昭則氏 新任)
議第42号	美濃加茂市固定資産評価員の選任について	税務課長の人事異動に伴う後任評価員の選任同意
議第43号	市道路線の認定について	鷹之巣482号線、加茂野483号線、加茂野484号線の認定
議第44号	美濃加茂市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	政務活動費の交付回数を半期から1年度に見直し、所要の改正を行うもの
議第45号	中濃二次医療圏の新たな救命救急センター指定を求める意見書について	中濃二次医療圏の新たな救命救急センター指定について県へ要望を求めるもの
陳第2号	貸付料減免等の要望について	商業ビルにおける(株)シティホテル美濃加茂の貸付料減免等の要望を求めるもの

議案の審議結果

その他(賛否が分かれたなど)の議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名																
			永田徳男	田口智子	坂井文好	酒向信幸	渡辺孝男	牧田秀憲	渡辺義昌	村瀬正樹	高井厚	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	森厚夫	山田栄	
請第1号	消費税率を当面5%に引下げをを求める請願について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請第2号	消費税インボイス制度実施中止を求める請願について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳第1号	不登校の児童及び生徒の対応に関する要望について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※陳第1号については、委員会が趣旨採択と決した審査に対する賛否。

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※《 》は議案名、◆は主な内容、()は補正金額

文教民生常任委員会

《令和3年度市一般会計補正予算(第18号)》

◆新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
(1億4,799万1千円)

問 大規模接種の詳細は。

答 大規模接種については、3回目接種を太田病院が月曜日、岐阜健康管理センターが土曜日での接種を予定しており、4回目接種は中部国際医療センターで水曜日と金曜日の接種を予定している。また、期間については9月末までを予定している。

問 集団接種会場修繕の詳細は。

答 これまで集団接種会場として使用していた西体育館の芝生の復旧や床面の修繕工事を予定している。

《市介護保険条例の一部を改正する条例について》

問 令和2年から始まった保険料の減免措置のこれまでの申請件数は。

答 令和2年度の減免対象被保険者は29名、令和3年度は12名である。

《市国民健康保険条例の一部を改正する条例について》

問 令和2年から始まった保険料の減免措置のこれまでの申請件数は。

答 令和2年度の申請件数は126件で減免額が約1,690万円、令和3年度が47件で約580万円の減免額となっている。

《市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について》

問 給付認定保護者の承諾方法は。

答 承諾は、書面や電磁的通信を利用して行うなど、トラブルにならない方法で行いたい。

《令和4年度市一般会計補正予算(第3号)》

◆古民家活用交流促進事業(480万2千円)

問 これまでの実績と今後の方向性は。

答 これまでに木工旋盤を用いたワークショップを実施してきた。今後は、リモート業務も兼ねたマル

チワークができる場所としての活用の実証実験を行っていききたい。

問 機材借上料の予定期間は。

答 4日間通したワークショップを2回行う計画をしており、予備日も含めて計10日分の期間を予定している。



木工旋盤を使って木皿を作製している様子

◆公立保育園施設管理運営事業(631万2千円)

問 保育需要調査(委託料)の詳細は。

答 標準保育である午前7時30分から午後6時30分以外の時間帯の保育需要や新たなサービスの発掘等を、保育園・幼稚園や一時預かり等を利用している保護者の皆様に対し調査を行い、今後の計画や施策に取り入れていくものである。

◆牧野ふれあい広場整備事業(3,600万円)

問 事業の詳細は。

答 今回の補正予算と本年度の当初予算とあわせて陸上競技場のフィールド芝を張る工事と電気設備工事を行うものである。



完成イメージ図

◆タブレットパソコン備品購入費(92万7千円)

問 タブレットパソコンの活用方法は。

答 ほほえみ相談員がタブレットパソコンを所持し、不登校の生徒・児童とのコンタクトを取るためのツールとして活用していききたい。

≡≡≡ **委員会審査の概要** ≡≡≡

企画建設常任委員会

《令和3年度市一般会計補正予算(第19号)》

◆歳入

問 **保健衛生費寄付金の詳細は。**

答 GIFU元気プロジェクト最優秀賞として、50万円の寄付を受けたものである。

◆繰越明許費

問 **中小企業支援事業の件数は。**

答 対象事業は2種類で住宅工事の補助金11件、110万円と事業所等整備補助金9件、450万円である。

《令和4年度市一般会計補正予算(第1号)》

◆木曾川中流域観光資源魅力向上推進事業(957万円)

問 **事業の詳細は。**

答 岐阜県、各務原市、犬山市、美濃加茂市、可児市、坂祝町で木曾川中流域観光振興協議会を組織して、観光に力をいれており、7月に太田の渡し復活の実証実験、秋にリバーJetを使った木曾川下り等の市民や観光客も参加できる実証実験を予定している。また、美濃加茂市の事業費として総額957万円の委託料のうち、2分の1を県の補助金で事業展開していく。

◆とくとく先得みのかも応援チケット事業(2億円)

問 **事業の詳細は。**

答 今回は抽選方式を取り入れることとし、抽選方法については期間を定めて、インターネットやハガキ等で受付し、申込期間終了後に抽選を行い、当選の方に引換券を送付する。

経済的な効果については、チケット購買先の市内商業事業者等への支援と、消費者への生活的な支援もあり、4.5から5億円の経済効果があると見込んでいる。

◆みのかもチャレンジ事業者応援事業(2,373万8千円)

問 **事業の詳細は。**

答 新しい事業に対してチャレンジする方を支援するために、これまでは75万円を上限としていたが、今年度は150万円を上限とした。

《令和4年度市一般会計補正予算(第1号)》

◆一般道路改修事業(6,300万円)

問 **牧野220号線道路改良埋蔵文化財調査の詳細は。**

答 牧野220号線道路改良の工事をする場所が、文化財保護法に指定されており、文化財が埋蔵されている可能性がある場所にあたり、一般道路改修事業として6,300万円の委託料で調査を行うもので、過去に埋蔵品があり工事が中止になった事例はない。

《消費税率を当面5%に引下げをを求める請願について》

現在、非常に円安であり、油、食料品も含めて物価がどんどん上がっており、国民の負担が大きくなっているため賛成とする意見や、消費税は、年金、医療、介護、子育て支援の社会保障費に使われており、5%に下げた場合の代わりに財源の問題があるため反対とする意見や、今までに議論され試行錯誤しながら10%にしており、簡単に上げたり下げたり変える物ではないため反対とする意見があった。採決した結果、不採択となった。

《消費税インボイス制度*実施中止を求める請願について》

全国に1,000万円以下の売り上げの事業者は約500万事業者あり、現在消費税が免税になっている中小企業、零細企業にとって課税の対象になるのは、非常に大きな痛手となるため、ある程度保護や免除はあってもよいと考えるため賛成との意見や、売上の多い少ないという観点ではなく、公平に税金をかけ消費税を有効活用するため反対とする意見や、免税となっている事業者すべてがインボイス発行業者に登録しなくてもよく、内容的にも議論が必要であるため、反対とする意見があった。採決した結果、不採択となった。

*令和5年10月1日から導入される仕入税額控除の方式。消費税の仕入税額控除の適用を受けるための請求書等の様式が適格請求書に変わる。

《貸付料減免等の要望について》

約23年間にわたり市の玄関として経営を続けてこられ、地域密着型の市民株主ホテルという位置づけが定着しており、公共性も高いものと考え、支援する必要があるため賛成とする意見や、3年間の減免などの期間について判断するための数字的な資料が必要である。また、長寿命化計画の中で、今後いくら投資していくのか、中身についての検討が必要など、趣旨には賛同するとの意見があった。採決した結果、採択となった。

議案や条例案の概要は、下記からご覧になることができます。

■美濃加茂市議会ホームページ

<http://gikai.city.minokamo.gifu.jp>

■閲覧方法

- ▶ トップページ
- ▶ 本会議日程と議案
- ▶ 令和4年 第2回定例会



市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登壇し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



渡辺義昌議長

美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

視聴方法

トップページ

会議名一覧

令和4年第2回定例会

6月14日・15日 一般質問

会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



前田 孝 議員

加齢性難聴者の補聴器購入助成について

問 補聴器購入助成制度がある近隣の自治体の状況は。

答 令和4年5月1日時点で、飛騨市、輪之内町、白川村が補助制度を設けている。制度創設の検討状況は39市町村中、7市町村が検討中である。

問 手帳未交付の高齢者に対して補助機購入の助成事業についての見解は。

答 高齢者の支援ニーズが多様化する中で総合的に検討したい。

带状疱疹予防ワクチン接種費用助成について

問 本市が現在補助しているワクチン接種事業の種類は。

答 「定期接種」を中心に、小児用では日本脳炎ワクチンやBCG、成人用では、風疹ワクチンについて接種費用の全額公費負担しており、高齢者の肺炎球菌ワクチン等は一部を補助している。合わせて15

種類となっている。

問 助成事業についての本市の見解は。

答 予防ワクチン接種は50歳以上の方を対象に接種が可能となっている。「任意接種」であり全額自己負担である。補助については予定していないが国の動向もみて検討していきたい。

市役所新庁舎建設について

問 新庁舎整備事業を見直すためのプロジェクトチームが発足したがそのチームの構成と目的は。

答 構成は情報整理部会と検証部会により「なぜ多くの市民と合意形成できなかったか」について検証作業を進めていく。

問 新庁舎建設に関連してアンケートを予定されているが規模と内容は。

答 15歳以上の市民4,000人を対象としたアンケートを7月に実施したい。内容については現在検討している。

問 今後の新庁舎建設についての方針や進め方はいつ頃までに発表するのか。

答 素案ができるのが10月以降になると考えている。

市政一般に対する質問と答弁



柘植 宏一 議員

教育長の所感について

問 コミュニティスクール及び地域学校協働活動については。

答 学校運営協議会は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める素晴らしい制度である。

学校主導の地域学校協働活動ではなく、地域とともに歩む活動であるべきと考えており、この4月から、ひとづくり課とまちづくり課の担当に同行してもらっている。

不登校について

問 進級時のあじさい教室への継続通級については。

答 あじさい教室の開級は、学校の始業式の一週間後を目安としている。継続通級においても保護者、学校、あじさい教室で本人の通級の意志、生活の仕

方や約束について再度確認をしている。

問 不登校にかかわる当事者団体「あったかホーム」との連携は。

答 「あったかホーム」は、保護者の悩みや心配事などを相談できる貴重な交流の場であると考えている。保護者の皆さんが交流をされることは、子どもたちの安定にもつながるので、今後も相談や情報提供をしたいと考えている。

新庁舎整備について

問 デジタル自治体下の庁舎については。

答 テレワークやオンライン申請においては、情報漏えいやデジタルデバインドへの対応など様々な課題がある。各種課題を検証・調査しつつ、システムの導入などを進めていく必要があると考えている。

問 見直しに関わる新たなビジョン案と新庁舎基本構想の関係は。

答 基本構想に掲げている「基本理念」「基本方針」等のコンセプトについては、今後も尊重していく。プロジェクトチームで整理・検証する内容は、基本構想を補完する情報として考えている。



片桐 美良 議員

新庁舎整備推進について

問 プロジェクトチームの情報整理内容をわかりやすく正確に伝える手段をいかに考えているか。

答 検証を踏まえた新庁舎整備の方針は、市ホームページや広報誌等で情報提供することも当然ながら、正確かつ分かりやすい情報の提供に努める。

問 アンケートの目的は。

答 無作為抽出の市民4,000人を対象にし、これまで策定を進めてきた新庁舎整備基本計画(案)が、多くの市民の意見や提案を反映されたものであったかの検証につなげたい。

問 プロジェクトチーム(検証部会)のメンバー構成は。

答 まちづくりの視点や広報の視点などによる検証を想定しており、課長補佐級又は係長級職員の中から5名程度を任命する予定である。

問 財政計画等今までに提示された数値の見直し、検証はいかにされるか。

答 今までに提示した造成費や建設費などを見直すと判断した場合は、改めて積算する可能性もあるが、相当の時間と費用を要することになると思われるので、その都度、議会と相談しながら進めていきたい。

問 検証の支援・分析を委託する予定の業者は、どのような資格や知識を備えているのか。また、人数は。

答 各種社会調査やマーケティング調査等を、全国で展開するコンサルタント会社である。今回の担当者は、専門統計調査士、専門社会調査士を含め6人が業務にあたる。

公立保育園及び学校給食について

問 物価高騰の給食への影響と対策は。

答 公立保育園・こども園では、物価高騰の影響は徐々に表れてきている。対策については、新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金を活用して対応する。現時点では、約550万円の補正予算を考えている。

学校給食では、物価高騰の大きな影響が出ている。対策は、保護者に追加の負担をお願いすることなく、地方創生臨時交付金の活用を考えている。

市政一般に対する質問と答弁



牧田 秀憲 議員

地域救急医療体制について

問 中濃二次医療圏の救急医療機関を取り巻く現状は。

答 中濃二次医療圏は、救命救急センターの中濃厚生病院と、12の救急二次医療機関で救急搬送業務を担っている。この圏域は、県内医療圏で人口が二番目に多く、面積も二番目に広い医療圏ながら、人口10万人当たりの医師数は岐阜県平均の値を大きく下回り、県内医療圏で最も医師数が少ない状況である。特に、小児科及び産婦人科・産科の医師不足は顕著な状況となっている。

問 中部国際医療センターの救命救急センター指定に向けての取組は。

答 可茂地域全体の大きな課題であると認識している。周産期母子医療及び小児救急医療を含めた、可茂地域の安定した救急医療体制が構築されることは、子ども達の明るい未来や、市民の社会生活にとって必須の課題である。これらの課題を解決していく

ことは、若い世代の定住促進や、市民が安心して暮らしていくことにも繋がると考えている。

今後は、可茂地域救急二次医療機関、各医師会、可茂消防事務組合、岐阜県医療整備課ともしっかりと連携を図りながら、令和6年度に改訂される岐阜県保健医療計画において、中部国際医療センターが救命救急センターに指定いただけるよう、しっかりと取り組んでいく。

ミナレク運動*について

問 県が推進するミナレク運動についての当市の考えは。

答 市内では、平成31年4月に「美濃加茂市レクリエーション協会」が設立され、現在、個人会員16名、団体会員が11団体で活動されている。市ではこれまでに、市主催のスポーツフェスティバルにおいてレクリエーション種目を取り入れてきた。今後、協会に対して参加を呼び掛けるなど、ミナレク運動の推進に努めていきたい。

*ミナレク運動…岐阜県が推進している運動で、本格的な競技スポーツとは異なり、子どもから高齢者、障がいのある方もない方も、手軽に楽しめるレクリエーションのこと。



坂井 文好 議員

農業ビジョンについて

問 5月成立の「人・農地関連法」により、市町村が地域農業の将来の在り方について協議の場を設け、地域計画を策定することになるが、今後の進め方は。

答 地域の農地利用の将来像を描く人・農地プランを「地域計画」として法定化する「農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律」「農山漁村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律の一部を改正する法律」が可決・成立した。

市としては、農業者や農業委員会、農地中間管理機構、JAなどによる協議の場を設け、将来の農業や農地利用の姿について話し合いを実施し、「農地利用」「保全管理」に分け、農地利用区域で地域計画を作成、その際、農業委員会は農地バンク等と協力して地図の素案を作成することになる。

問 「担い手の育成」において、全国レベルでは集落営農数が減少傾向にあるが、本市での状況は。

答 当市の状況は、令和元年に三和地区に農業法人が設立され、毎年事業面積を拡大されている。市としても全面的に支援している。先行事例として、他の地区でも新たな法人設立につながればと期待している。

問 「食の循環」において、みのかもブランド(里山印)育成の進捗状況は。

答 みのかもSDGs協議会農林業部会で、土づくりや環境負荷などのテーマを柱に骨子をまとめた。より農業者の視点で考えることから取り組み、里山印の取扱店舗数や里山印の認定数といった出口戦略から、まずは生産者の誇りと自信につながるような入口戦略を強化していきたい。

問 「環境保全」において、耕作放棄地の解消のための具体策は。また、支援策は。

答 耕作放棄地の解消については、即効性のある具体策が見出せていないのが現状で、まずは耕作放棄地にならないように環境保全の対策を行っている。国の「中山間地域直接支払交付金」や「多面的機能支払交付金」といった制度や、市の「農業用資源保全管理活動補助金」等により、地元住民による農業用資源の保全管理を支援している。

≡≡≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡≡≡



村瀬 正樹 議員

市商業ビルの今後のあり方について

問 ここ数年の実績とこれから予想される市財からの実質投資額は。

答 市商業ビル維持管理費事業の歳入及び歳出額について、新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大後における比較をすると、拡大前の平成30年においては、歳出額は約8,400万円、歳入額は約3,950万円であり、歳出から歳入を差し引くと約4,450万円であった。

拡大後の令和2年度においては、歳出額は5,100万円、歳入額は約1,750万円であり、歳出から歳入を差し引くと約3,350万円であった。

問 (株)シティホテル美濃加茂の経営状況は。

答 (株)シティホテル美濃加茂においては、厳しい社会環境の中にもかかわらず絶え間ない経営努力を重ねながら、継続かつ安定したサービスの提供に努めていただいていると認識している。

市としては、引き続き連携しながら、市商業ビル

の有効な活用を進めていく。

問 期限を設け、存続可否の結論を出すことについて伺う。

答 市商業ビルの場所に新庁舎を整備する新庁舎整備基本計画が白紙となったことから、現在、市商業ビルを除却する具体的な計画はない。

また、現在も多くの皆様が市商業ビルを利用いただいている。従って、現時点において特定の期限を設けて市商業ビルの存続可否について結論を出すことは考えていない。

今後とも、市商業ビルを維持管理する立場として、(株)シティホテル美濃加茂がこれまで果たしてきた役割や経過、現実的な今回の要望を重く受け止めながら、市としてどのように対応していくべきかをしっかりと丁寧に考えていきたい。



美濃加茂市商業ビル



永田 徳男 議員

急発進防止装置設置補助制度について

問 今後の制度拡充の方向性は。

答 急発進防止装置設置費補助金は、軽トラックも含め、令和2年1月から施行しており、年度末を期限として効力を失うが、これまでの状況を把握しながら延長をしてきた。

今後の制度拡充については、新車に衝突被害軽減ブレーキの設置が義務化され、今年5月に「サポートカー限定免許制度」が導入されるなど、様々な安全対策がされているため、制度拡充は予定されていないが、今後の進展状況により延長等も考えていく。

農業作業車のナンバープレートについて

問 「手続きの簡素化」は。また、現状の実態把握は。

答 各連絡所にて、申請・交付の手続きが取れるようにした。実態把握として、令和4年度は、「広報みのかも」「みのかも農業委員会だより」に車両登録の啓発を行い、今年1月から市内農機具販売店4店

舗に登録案内のチラシと申請書を配布、登録に関して協力依頼をしている。登録漏れの調査は、税務署の協力のもと、農業申告の経費中、車両の減価償却費の記載はあるものの車両登録が無いものを把握し、登録の必要性があると思われる方に、案内を送付することで啓発している。

美濃太田駅前にある商業ビルについて

問 テナントへの対応を今後どうしていくのか。

答 市商業ビル内のシティプラザ美濃加茂において、設置及び管理に関する条例に基づくテナント施設の使用許可を受け使用されている方は、条例に基づき使用いただけるものと考えている。

新庁舎整備基本計画が白紙となり検証作業中となっている現在、今まで血の滲むばかりの経営努力されている株式会社シティホテル美濃加茂に対して、ホテルの要望書を踏まえつつ、コミュニケーションをしっかりと取りながら今後の方向性を出していきたい。



渡辺 孝男 議員

消費拡大に繋がる市独自の支援策について

問 今後予定されている、先得美濃加茂応援チケットの詳細は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地域経済の回復を目的として、飲食店等の販売促進と消費喚起を促すためにチケットのプレミア分を前回の30%から40%に上積みし、500円券10枚つづりで1シート5,000円分を3,000円で購入することができる。

購入者側の上限は1事業者5シートとし、6事業者まで選択でき、事業者側の販売上限は400シート200万円(補助金80万円)となり秋ごろの販売開始を目指す。

牧野ふれあい広場の状況について

問 建設中の牧野ふれあい広場の進捗状況及び完成年度は。

答 令和元年度に敷地南西部の駐車場を整備し、令

和2年度から3年度にかけて、敷地全体の粗造成や、西側の雨水調整池機能を有した芝生広場の整備を行った。令和3年度から今年度にかけて、アーチェリー場や器具庫の整備及び、雨水排水工事、水道設備工事を現在進めている。

今後、陸上競技場の整備及び電気設備工事を予定しており、来年度以降は陸上競技場全体の仕上げ工事のほか、トイレ整備や園路舗装などを予定し、令和7年度中の供用開始を目指し進めている。

完成後の管理について

答 東側のスポーツ施設と西側の公園施設と用途が大きく分かれ、防災拠点施設としての役割を併せ持った施設であり、この施設の管理については、貸し出しなどの運用と施設自体の維持に関する検討が必要になる。

今後、管理そのものを市が直接行うのか、あるいは、専門業者への包括的な管理委託といったことも含め、具体的な管理方法を財政的な負担も考慮しながら詰めていく。



金井 文敏 議員

ミライロIDの導入について

問 障がい者の社会参画の後押しになるのでは。

答 「ミライロID」はスマートフォンを活用した障害者手帳アプリで、障害者手帳(原本)の代わりに提示することで各種サービスを受けられる民間のシステムです。

障害者手帳を常に所持する必要がないことや抵抗を感じる方でも、スマートフォンの画面を提示するだけで、障がい者向けサービスを気軽に利用できるため、障がいをお持ちの皆さんの外出の後押しや行動範囲の拡大など、社会参画につながる有効な仕組みであると感じているので、導入に向けて前向きな検討をしていきたい。

学校給食のアレルギー対応について

問 食物アレルギーを有する児童生徒に除去食や代替食を提供することは。

答 給食センターの設備・資材及び人員体制と、小中

学校での配膳体制の双方において、アレルゲン混入リスクを確実に排除すること、そして、どのようなアレルギー対応が実現可能かなどについて、食物アレルギー対応方針を策定し、今後の実現に向けて進める。

食物アレルギー対応委員会を立ち上げることは。

答 食物アレルギーの有識者や給食センター、学校現場の状況を熟知する関係者でしっかり協議することが重要と考えている。食物アレルギー対応委員会を組織し、食物アレルギー対応方針の策定等に向けて、協議を進めていきたい。

栄養教諭・栄養士とアレルギー児の保護者との懇談会は。

答 学校給食全体における食物アレルギー対応の参考になるよう早期に開催したい。

医師の診断による「学校生活管理指導表」の提出を必須とすることは。

答 医師による定期的な診断が重要になるので、適切な診断を受けるように啓発を進める。



≡≡≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡≡≡



森 弓子 議員

多文化共生施策(通訳)について

問 外国籍市民に対しての通訳サービスは、多言語・他窓口になっているが、通訳の外部委託や有料化の考えは。

答 通訳業務については、民間委託などを検討したが、行政知識を持っていないと、「正しく伝わらない」ことが懸念されるため、実施には至っていない。来庁の外国籍市民に「外国人ワンストップ相談窓口」を設置し、行政手続きの助言などを行い、自立と共生への第一歩としている。なお、通訳の有料化は考えていない。

リニューアルした文化会館について

問 「芸術文化活動の場から交流・憩いの場」への具体的内容は。また、受益者負担を踏まえながらの私からの6提案に対しての考えは。

答 文化会館は、昨年耐震補強改修工事を終え、公募により「かも〜る」という愛称をつけた。これからの文化会館は、伝統的な文化・芸術活動に限らず、

一般の方々のパフォーマンスやアーティスト活動ができる気軽な場として、あるいは、市民の方が企画される楽しいイベントなど、様々なジャンルで活動できる施設として運用し、人の交流を促進していきたい。学校行事に利用、中山道会館やリバーポートパークとの連携、かも〜るマルシェ、坪内逍遙博士関連の映画上映、市政70周年記念のイベントなど、森議員からの提案については検討していく。

市のホームページと美濃加茂市報について

問 見たい知りたいところへアクセスしやすいホームページへの工夫は。横書きの多い市報の見開きを左からにしては。

答 必要な情報を探しにくいという指摘には、現在ホームページ管理システムの更改と、リニューアルを検討している。

「見たい知りたい情報が探しやすいこと」「スマートフォンでも見やすく操作しやすいこと」「ライブイベントに合わせた手続き等がまとめて確認できること」など、市民が使いやすく、市職員が更新しやすいホームページにしていく。

市報の見開きは、読者の視線を大切に考え、引き続き右開きで考えている。



山田 栄 議員

美濃加茂市都市計画マスタープランについて

問 美濃加茂市都市計画マスタープランは2020年からスタートし、土地利用の方針、都市施設の整備方針、安全・安心の方針、景観・観光のまちづくり方針が示され3年目に入っている。本計画の進捗状況は。

答 美濃加茂市都市計画マスタープランは都市計画法第18条の2に規定される「市の都市計画に関する基本方針」を定めたもので、国・県の定める上位計画に即し、市の第6次総合計画をはじめとする諸計画との整合を取りながら策定した。現在、本計画に基づいて、児童福祉施設、医療施設、都市公園や道路の整備、空き家対策等を実施している。

また、2029年が完成目標の新丸山ダムの建設や東海環状自動車道東回りの4車線化の整備等、国等の事業についても関係機関に対し、積極的に事業促進の働きかけをしている。

問 「コンパクト+ネットワーク&サテライト」による新たな都市づくり、まちづくりを進める中心核となる都市拠点(美濃太田駅周辺エリア)に対する評価は。

答 美濃太田駅周辺地区は、市全体の活動をけん引しながら都市の活力を向上させる、商業、業務、福祉、医療、行政サービス等の都市機能を集約した都市拠点として位置付けている。既存市街地の再整備や交通ネットワークの強化、観光・交流、子育て、道路などの施設整備を進めて5カ所のサテライト拠点とのネットワークを活かしながら、より充実した生活サービスが提供できる地区を目指し、人が集まり歩いて楽しい、多様な世代が暮らしやすい、まちづくりを推進する地区である。

新庁舎整備について

問 これまでの取組の検証はいつを目途に終え、その結果をどのような方法で、57,000人すべての市民に説明(3月定例会で答弁)し、計画を進めていくのか。

答 検証が完了するのは10月以降となる。説明は市HP、広報紙は当然のこと、正確かつ分かりやすい情報の提供に努める。

市政一般に対する質問と答弁



田口 智子 議員

健康増進について

問 全日本歯科保健優良校という本市の子どもたちの歯と口の健康づくりの取組を広げ、市民の歯科検診受診率の向上につなげては。健康キャラクターを募集してはどうか。

答 市内の小中学校では歯の重要性や意識を高める取組を行っているが、20歳になると歯科検診の受診率が低くなり歯の健康の重要性が継続できていない事が課題となっている。現在、医師会の協力を得ながら市民の皆さんが健診の機会を多く取れるような取組を行っている。「8020」を目指してさらに力を入れていく必要がある。健康キャラクターについては、健康への啓発も含め子どもたちを中心に、ぜひ募集していきたい。

子育て世代への支援拡大について

問 支援策として医療費の無償化を18歳まで拡大する考えは。具体的な子育て支援の施策は。

答 18歳までの医療費の無償化については子育て世代

への支援拡大につながることは理解している。18歳まで医療費助成を行った場合、年間約5,000万円の予算が必要になると試算している。医療、介護等の社会保障にかかる経費の増加が懸念される中で、市の財政状況も考慮して子育て支援政策全体の中で検討する必要がある。

SDGs未来都市の進捗状況について

問 SDGs協議会の中で進められている、官民が一体となって持続可能な経済モデルを構築し、行政では手が届きにくい社会問題の解決を民間企業のノウハウ・資金を活用しビジネス化を進めるソーシャルビジネスの進捗状況は。

答 「ローカルSDGsみのかも」ではソーシャルビジネスに再投資される資金を再生可能エネルギーの地産地消によって得ることを計画している。今後も社会環境の変化を注視しつつ検討を重ねていく。

問 本市は「ゼロカーボンシティ宣言」を行っている。再生可能エネルギーを活用し、地域の課題解決や災害対策など市民にも子どもたちにもわかりやすい脱炭素事業を進めていくべきでは。

答 脱炭素の推進、エネルギーコストの削減は自治体共通の課題であり、協議検討を重ねているところである。



高井 厚 議員

農業用水の危機管理について

問 白川導水路、蜂屋調整池、上飯田調整池などが被害を受けた場合の対策は。

答 施設管理者である水資源管理機構木曾川用水総合管理所美濃加茂管理所に伺ったところ、「導水路については、白宗トンネル約6.3kmについて、平成27年度から令和2年度までの間で右岸用水緊急改築事業に入り、トンネル背面の空洞充填対策等の改修を行った。

また、蜂屋調整池及び上飯田調整池については、南海トラフ巨大地震を想定した耐震診断を行い、両調整池ともに通水機能に支障がないことを確認している。

大規模地震あるいは不測の事態発生に伴い、万一施設が被害を受け通水機能を失った場合には、用水の早期回復となるよう、各施設の応急復旧対応を最優先で行うとともに、緊急事態発生において河川管理者との迅速な調整協議を行い、他の水利施設等か

らの水融通を検討するなど用水の確保に努めていく。」と回答があった。

問 各用水路、支線、分線の今後の取り換え時期や、経費の概算は。

答 「木曾川用水右岸施設については、これまで3回の緊急改築事業により管路の取替等の改築を実施し、管路延長全体91.2kmのうち、46.5kmの取替又は補強等の改築をした。

各用水路、支線、分線に関する今後の取り換え時期等に関しては、施設の長寿命化、対策費用の整理等を行う機能保全計画を基に適切に管理していくが、残されている施設の全面的な改築には巨額の費用と時間が必要なことから、現時点では未定となっている。

いずれにしても時期等については、関係利水者の方々と相談、調整をして用水の安定供給に努めていく。」と回答があった。

問 東海農政局の指示もあり、取水口の点検があったと思うが結果はどうであったか。

答 可茂農林事務所を通じて取水口等の緊急点検の依頼があり、市が管理する取水口23カ所について一斉点検した。すべて異常は認められなかった。

≡ ≡ ≡ **市政一般に対する質問と答弁** ≡ ≡ ≡



森 厚夫 議員

新庁舎建設について

問 都市計画マスタープラン・立地適正化計画の見直しは。

答 都市計画マスタープランは、2020年3月に20年後の都市の姿を見据えた計画として策定した。計画期間は2040年3月までの20年間であり、策定後おおむね10年で見直しをする予定であり、2029年に見直し作業を行う予定である。

立地適正化計画は、2020年3月に策定し計画期間は2040年3月までの20年間である。おおむね5年ごとに計画の評価を行い、必要に応じて見直しを行う。

問 美濃太田駅南地区市街地再開発との関係・影響は。

答 新庁舎整備事業との相乗効果を前提としない計画として事業推進を図る予定である。

問 市商業ビルの今後のあり方は。

答 商業ビルの場所に新庁舎を整備するという新庁舎整備基本計画が白紙となったことから、現在、市

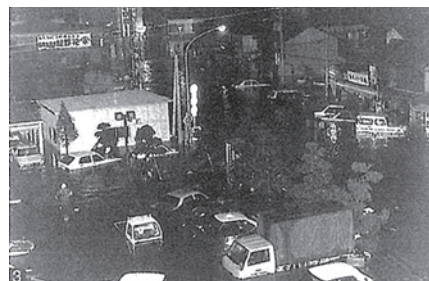
商業ビルを除却する具体的な計画はない。よって、公共施設等総合管理計画及び、市商業ビル長寿命化計画に基づき、建物の安全性と快適性を維持しつつ適切な管理を進めていく。

問 公共施設等の総合管理計画については。

答 既存公共施設等の整備水準を再検討するとともに、総量縮減や民間活力の導入などを進め、引き続き資産経営の取組強化していく。現在の本庁舎等における課題や、新庁舎の建設費用についても、全庁的な視点で調整を図りながら、進めていく必要があると考えている。

問 新庁舎建設場所の防災対策については。

答 台風及び豪雨災害による浸水害、地震による震度及び液状化現象について、最新の被害予想データを基に検証を実施する。また、特別警報の発表時、災害が発生する危険性が高い場合及び災害発生後に設置される災害対策本部が、総合的に運用され適切に機能するかについても検証していく。



1983.9.28災害 水没した車(生涯学習センター前)

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見を掲載します。

- ・一般質問の中で市庁舎問題もいくつか取り上げられている。市民としても気になるところです。それに関連してシティホテルがどうなるのか、さらに市の都市計画も質問にあがっている。これらを傍聴して市のより良い発展を夢見るのは私だけではないと思う。
- ・新庁舎の件、今どのように進展しているのかお聞きしたかった。私が住んでいる中山道沿いも空家が多く、いろんな人に利用していただきたいと思います。
- ・今まであまり関心がなかった教育関係(特に不登校問題)についての質問を聞いて関心を持つようになりました。子ども家庭庁法案成立を踏まえ、子ども主体(教育関係)とした市の政策にもいっそう力を入れていただきたいと思えます。

議会日誌 (主なもの)

5月	29日	議会だより編集委員会
3日	7月	
9日	5日	東海環状自動車道中東濃地域建設促進協議会定期総会
16日	7日	国道418号整備促進期成同盟会定期総会
19日	11日	議会だより編集委員会企画建設常任委員会意見交換会
22日	12日	可茂地域一部事務組合議会臨時会
23日	13日	県市議会議長会議
25日	14日	木曾川右岸用土地改良区第1回臨時総代会
26日	15日	議会だより編集委員会
27日	19日	多治見市議会行政視察
6月	20日	四線促進期成同盟会消防操法大会激励会
2日	21日	議会運営委員会
6日	25日	鈴鹿市議会行政視察
		リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会
8日	28日	東海環状自動車道建設促進岐阜県西部協議会、国道21号・国道22号及び岐阜南部横断ハイウェイ整備促進期成同盟会
9日		岐阜県市町村職員退職手当組合議会
16日		
24日		

活動 ピックアップ

〈オーガニックに関する勉強会を行いました〉

令和3年第4回定例会で趣旨採択されたオーガニック給食に関する請願を受けて、令和4年7月11日に、給食ネットワーク岐阜 代表 服部晃氏を講師に招き、オーガニックに関する勉強会を行いました。

オーガニックとは、化学合成農薬や化学肥料に頼らず、自然の恵みを生かして生産された農林水産物や加工方法を指す言葉です。議会としても、将来を担う子どもたちが、安心・安全な給食をとることができるよう、今後もオーガニックについて更なる調査・研究を進めてまいります。



議員表彰

令和4年度全国市議会議長会及び東海市議会議長会の定期総会において、下記の議員が表彰され、議長から表彰状の伝達を行いました。

前田 孝 議員

議員在職：15年以上
 議員歴：平成18年10月～現在



次の定例会の予定

令和4年市議会第3回定例会

- 8月22日(月) 初 日
- 30日(火) 一般質問
- 31日(水) 一般質問
- 9月 1日(木) 一般質問
- 2日(金) 質 疑
- 14日(水) 最 終 日

※日程は都合により変更となる場合があります。
 詳細は議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

3月定例会で継続審査となっていた陳情・要望「不登校の児童及び生徒の対応に関する要望について」は、初日に「趣旨採択」として議決された。本件を付託された文教民生常任委員会では、教育委員会を招聘しての現状等の調査を行うとともに、提出者である不登校児童生徒の保護者が集まる当事者団体「あったかホーム」との未来トーク(市民との意見交換会)を実施した。不登校対応の課題や当事者の困りごとなどについて、多くの気付きや認識を得ることができた。

今後も未来トーク実施による常任委員会の活性化を期待したい。
 柘植 宏一

第2回定例会の議場装花



あじさいの花

市議会では、政務活動費の支出内容の明確化と透明性の確保のため、各会派の政務活動費の収支報告書・出納簿及び領収書を、ホームページにて公開しています。(公開内容は令和3年度分)

「市議会ホームページ→情報公開→政務活動費支出状況」からご覧いただくことができます。引き続き、健全な議会運営に努めてまいります。

次回の議会だよりは、令和4年11月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

